

新しい走りを生み出すフィットテクノロジー

『UAスピードフォーム』シリーズから新ラインアップが登場

2014年8月5日より順次発売開始



株式会社ドーム（本社：東京都品川区、代表取締役：安田秀一）は、「アンダーアーマー（UNDER ARMOUR）」ブランドから、従来のフットウェアの構造概念を大きく変える、世界初の“シームレスヒールカップ”を搭載した『UAスピードフォーム』シリーズの新ラインアップを2014年8月5日よりアンダーアーマー取扱店にて順次発売いたします。『UAスピードフォーム アポロ』は新色に加え、ウーマンズモデルをラインアップ。また、ソールにラバーチップを配置し優れたグリップを発揮するクロスカントリー仕様の『UAスピードフォームXC』が新たに登場いたします。



『UAスピードフォーム アポロ』



『UAウーマンズ スピードフォーム アポロ』



『UAスピードフォームXC』

【『UAスピードフォーム』テクノロジー】

ランニングフットウェアの課題として挙げられるのが、ランディング（着地）時、シューズ内での踵部のズレでした。それにより、ランディングから蹴り出しまでのモーションコントロール（荷重移動）がうまく行われず、安定性が失われてしまいます。踵部を安定させるため、アッパー（甲材）内部にスポンジを埋め込んだり、インソール（中底）をカップ状に成型するなど、パーツを付け足すことでベストなフィットに近づけようと思いますが、踵部はどうしても箱状になってしまい、足の形状と合わず隙間が生じてしまいます（右概念図参照）。

『UAスピードフォーム』は、一枚の素材から足の形に沿って包み込む構造を実現した一体成型テクノロジーによる、踵にぴったりと合う“シームレスヒールカップ”を搭載し、足に吸いつくような未体験のフィットを生み出しました。踵の形にフィットし、着地時のズレを無くすことで、安定したランニングを提供します。



今後もアンダーアーマーは、“To Make All Athletes Better”のブランドミッションのもと、アスリートのパフォーマンスを最大限引き出すことを追求し、ランニング時やオンフィールドでの着用時に最高のフィーリングを提供するフットウェアを開発していきます。



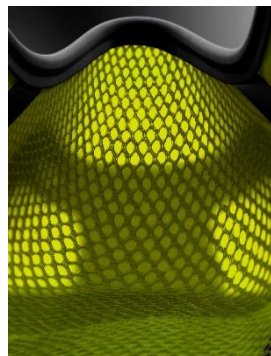
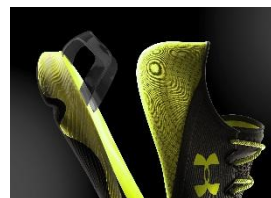
SPEEDFORM

<http://www.underarmour.co.jp/run/speedform>

製品特長

【一体成型テクノロジー】

長年、靴の構造は多数のパーツを縫い合わせたり貼り合わせたりすることで、足を入れる箱型を形作っていました。『UAスピードフォーム』はその概念にとらわれず、脚力を最大限に発揮できるフットウェアを追求。その結果、アパレル（ブラ）工場の技術を応用し、開発された“一体成型テクノロジー”を用いることで、足を入れる容器ではなく、足の形にそって包み込むようなまったく新しい構造を実現。かかとからつま先までフィットする足への密着感を創出しました。



【世界初となる“シームレスヒールカップ”】

曲線を描く足の形にフィットするヒールカップの成型を、たった一枚の素材で実現。隙間やズレ、縫い目のストレスを解消し、足に吸い付くかのような高いフィット感をもたらします。

【シンプルな3ピース構造】

各パーツを一体成型にすることにより、アッパーはわずか3つ（トゥ、ヒール、シュータン）でシンプルに構成。結果、余分な重量がなくなり、軽量化につながりました。さらにそれぞれのパーツをウルトラソニック製法でつなぐことで、足当たりがなめらかになり着用時のストレスを軽減します。



【ウォッシュابل】

『UAスピードフォーム』にはアパレル工場で生み出されたフットウェアならではの特長として、ウォッシュابل機能が挙げられます。土のグラウンドや芝の上を走行中、汚れてしまったシューズを手洗いすることが可能。常に清潔に保ち、快適に着用することができます。



アスリートからの評価



Chris “MACCA” McCormack（クリス “マッカ” マコーマック）

トライアスリート

アイアンマン世界チャンピオン（2007年 / 2010年）

アイアンマン70.3セントレア知多・常滑ジャパン 優勝（2012年 / 2014年）

ひとつも犠牲がない。

これは本当に未来のシューズだと言える。

「縫い目は覆われているし、フィットや履き心地も良く、安定性も犠牲にしていない。つま先も必要なスペースは残したままフィットがうまく考えられている。

普通は幅の広いつま先だと足が中で遊んでしまうのだけどスピードフォームの場合は違う。そして軽さもすぐにわかる。

ランナーである以上マメができるのは仕方ないと思っていたけど、そんなことはなかった。これからはそんな問題を気にする必要がなくなったんだよ。マメはシューズが足にフィットしないからできるもので、スピードフォームではそれがなくなるのは当然だ。」



SPEEDFORM

製品スペック



SPEEDFORM

APOLLO

MEN'S

WOMEN'S



LDD/HVY/HVY



SRI/CIB/NPU



HVY/ERB/ERB



BLZ/HYG/ELB



SRB/BLK/HVY

吸い付くような踵のフィットと軽量性

【製品名】『UAスピードフォーム アポロ』/『UAウーマンズ スピードフォーム アポロ』

【MEN'Sサイズ】25.0cm(7.0)~29.0cm(11.0)、30.0cm (12.0)

【WOMEN'Sサイズ】22.5cm(5.5)~26.0cm(9.0)

【ソール幅】80mm

【オフセット】8mm

【価格】¥ 10,000 (税別)

【発売日】2014年8月5日より順次発売

【対象ランナー】レース(10km~ハーフ)、スピードトレーニング用

【MEN'S重量】198g (MEN'S 27.0cm)

【WOMEN'S重量】155g (WOMEN'S 24.0cm)

※オーバープロネーション抑制モデル

UAスピードフォームのクロスカントリー仕様

【製品名】『UAスピードフォームXC』

【サイズ】25.0cm(7.0)~29.0cm(11.0)、30.0cm (12.0)

【ソール幅】83mm

【オフセット】8mm

【価格】¥ 11,500 (税別)

【発売日】2014年8月5日より順次発売

【対象ランナー】レース(クロスカントリー)、スピードトレーニング用

【重量】230g (MEN'S 27.0cm)

UNDER ARMOUR (アンダーアーマー)

「アスリートを進化させる」ことをミッションに掲げる“パフォーマンスアスレチックブランド”。近年急速に普及した身体にフィット（密着）するアスリートのためのウェアの発祥ブランドであり、汗を素早く吸収、発散し、身体を常にドライで快適に保つウェアなど、アスリートのパフォーマンスを最大限に引き出す商品開発に取り組んでいます。米国本社での売上高は2010年10億ドル、2013年23億ドルと伸び続け、時価総額は110億ドルを突破。1996年の創業以来驚異的な成長を続けています。

日本においても、パナソニック ワイルドナイツ（ラグビー）、大宮アルディージャ（サッカー・J1）のユニホームサプライヤーとなっているほか、プロ野球の阿部慎之助選手、澤村拓一選手（ともに読売ジャイアンツ）、フリースタイルスキー・モーグルの上村愛子選手ら、多くのトップアスリートのパフォーマンスを支えています。

株式会社ドーム

1996年創業。テーピングの取扱いからスタートし、現在はスポーツプロダクト（アンダーアーマー）やスポーツサプリメント（DNS）、パフォーマンスディレクション（ドームアスリートハウス）などの事業を展開しています。ドームは「社会価値の創造」という理念のもと、スポーツを通じた豊かな社会づくりに貢献できるよう努力してまいります。

